第２報

第 54 回 全国社会福祉教育セミナー 2025 in 石川

『福祉人材確保』×『学校経営』×『ソーシャルワーク教育』

縮小社会に対応するための戦略を考える

18 歳人口の減少に伴い、全国的に高等教育機関の定員割れが深刻化しており、特に地方に所在する福祉系大学等は経営の危機に直面している。同時に、将来的に「消滅可能性自治体」の増加が予測されているように、自治体の持続可能性も危惧される状況にある。このような人口減少を背景とした縮小社会はすでに現実のものとなっており、すべての人々が住み慣れた地域で今後も安心して暮らし続けられる未来を実現するために、福祉人材の確保が国家的な課題といえる。　こうした現状を踏まえ、2025 年度の全国社会福祉教育セミナーでは、「福祉人材確保」「学校経営」「ソーシャルワーク教育」をキーワードに、縮小社会に対応するための道筋について、地方創生の視点も交えながら、2040 年を見据えた多角的な対応戦略を検討・展望する。

なお、今年度は、別で行うオンデマンド配信研修プログラムと対面・参集型プログラム（ライブ中継あり）を組み合わせ、21 世紀における持続可能な社会を支える福祉人材の育成・確保に向けて、関係者それぞれの立場から問題提起を行い、議論を深める機会としたい。

2025 年 12 月 13（土）日・14（日）日・15（月）日

オプショナルツアー

会　　場：北陸学院　栄光館　グロリアチャペル（石川県金沢市）

※　北陸学院様のご厚意により、本セミナー参集会場は歴史あるチャペルをお借りして開催いたします。
ご着席はベンチ式の椅子となりますのであらかじめご了承ください。

定　　員：参集３００名（オンラインは無限）　　参加費：１６，５００円（オンラインも同額）

対　　象：養成校の教職員及び経営部局担当者、福祉事業者、実習指導者、福祉の現任者、その他関心のある方

参加方法：本セミナー特設サイト　https://jaswe.jp/2025seminar/ からお申込ください。

特設サイト

【アクセス】
- 小松空港から JR 金沢駅までリムジンバスで約 45 分
- JR 金沢駅東口 (兼六園口) の 6 番乗り場から北陸鉄道バス東部車庫行き、または石川県立図書館行きなどで乗車約 15 分「出羽町」下車後、徒歩すぐ。

本連盟は今年で創立 70 周年を迎えました

日本ソーシャルワーク教育学校連盟
JAPANESE ASSOCIATION FOR SOCIAL WORK EDUCATION

お問合せ：一般社団法人日本ソーシャルワーク教育学校連盟事務局　E-mail：2025seminar@jaswe.jp ／ Phone：03-5495-7242
〒108-0075 東京都港区港南 4 丁目 7 番 8 号　都漁連水産会館 6 階

主催　一般社団法人 日本ソーシャルワーク教育学校連盟
協力　北陸学院大学
後援（予定）　厚生労働省　文部科学省　法務省　こども家庭庁　石川県　全国社会福祉協議会　全国社会福祉法人経営者協議会　公益社団法人日本社会福祉士会　公益社団法人日本精神保健福祉士協会　公益社団法人日本医療ソーシャルワーカー協会　特定非営利活動法人日本ソーシャルワーカー協会　公益社団法人日本介護福祉士会　公益社団法人日本介護福祉士養成施設協会　全国福祉高等学校長会　一般社団法人日本社会福祉学会　日本ソーシャルワーク学会　日本地域福祉学会　福祉系大学経営者協議会　他

第 54 回 全国社会福祉教育セミナー in 石川

プ　ロ　グ　ラ　ム

（予定）

※プログラム・登壇者等は変更になる場合があります

日本ソーシャルワーク教育学校連盟
JAPANESE ASSOCIATION FOR SOCIAL WORK EDUCATION

program DAY 1 2025.12.13(土)

Time	Program	Speaker
10:30 - 10:50	オープニング	中村 和彦（本連盟会長・北星学園大学） 学校法人北陸学院・北陸学院大学
10:50 - 11:50	【報告１】 『本連盟会員校の学生進路意向調査結果の要点』	伊藤 新一郎（本連盟常務理事・北星学園大学）
11:50 - 12:50	＜昼休憩＞	
12:50 - 13:50	【基調講演】 『中央教育審議会答申「我が国の「知の総和」向上の未来像」の要点と今後の高等教育の課題』	森 朋子 氏（桐蔭横浜大学学長・中央教育審議会委員）
14:00 - 16:00	【鼎談】 『福祉人材確保 × 学校経営 × 高等教育 × 地方創生の未来を展望する～ 2040 年を見据えて～』	＜登壇者＞ 森 朋子 氏（桐蔭横浜大学学長・中央教育審議会委員） 内閣府地方創生推進事務局より（調整中） 中村 和彦（本連盟会長・北星学園大学） ＜聞き手＞　大原 裕介 （本連盟理事・社会福祉法人ゆうゆう）
16:10 - 17:40	【セッション】 『福祉人材確保とソーシャルワーク実習の連動』	＜登壇者＞ 養成校の就職支援：渋谷 哲氏 （本連盟相談役・淑徳大学） 全国社会福祉法人経営者協議会より（調整中） 養成校教員：仲井 達哉 （本連盟理事・川崎医療福祉大学） 養成校教員：中條 大輔 氏（志學館大学） ＜司会＞名城 健二（本連盟常務理事・沖縄大学）

program DAY 2 2025.12.14(日)

10:00 - 11:30	【ワークショップ】 『ソーシャルワーク教育のエデュケーショナルポリシー策定に向けて（中間報告）』	＜司会＞渡辺 裕一（本連盟理事・SWEP_PJ・武蔵野大学） ＜説明＞南野 奈津子 氏（SWEP_PJ・東洋大学）
11:30 - 12:30	【報告２】 『令和６年の能登半島地震・豪雨災害における北陸学院大学学生の被災地支援状況』	＜報告者＞　北陸学院大学学生ほか ＜モデレータ＞　田中 純一 氏（北陸学院大学） ＜ソ教連災害活動報告＞ 山本 克彦 氏（本連盟災害対応部会長）
12:30 - 13:30	＜昼休憩＞	
13:30 - 15:00	【報告３】 『厚生労働省令和７年度社会福祉推進事業経過報告』（SW 実習関係）	＜報告者＞ 石附 敬 氏（事業委員・東北福祉大学） 実習支援システム活用状況調査チームより（調整中） ＜司会＞　髙良 麻子（本連盟副会長・法政大学）
15:00 - 15:10	クロージング	山野 則子（本連盟副会長・大阪公立大学）

program DAY 3 2025.12.15(月)

オプショナルツアー

『ソ教連会員校の学生が支援活動している奥能登の被災地をバスでめぐり、歩く』

（金沢駅発着・ガイド付・各自昼食準備・車内食）

日　時：12月15日（月）09:00 ～15:00（予定）
定　員：20 名（最少催行人数 15 名）
参加費：6,600 円
コース（予定）：金沢駅～輪島市門前町～奥能登 VC（宿泊拠点）～金沢駅